憲雅和歌集

一三三四五

雜

上

四十一

和書門
類 二七〇七四號
函 一一一
架 一四
冊 五六

内閣文庫
和書
類 二七〇七四號
冊 五六
函 二〇〇
架 三

内閣文庫
番號 和 27074
冊數 56 (41)
函號 200 5

糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

風雅和歌集巻第十

恋部一

恋乃部中小

[illegible]

百首歌中時恋部

[illegible]

関白左大臣

[illegible]

兼参議教忠

[illegible]

坂脱御殿御所

明治十二年買上
内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

初瀬のふもとにあり　前中納言定家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人もとれぬ山のうちにはいひゆへ常にあるもの月はまれ

[illegible]

岩根のうちにふるわれいもとこころの[illegible]

[illegible]　法印親子

[illegible]

[illegible]

初て人のりまつりもり

大納言公任

[illegible]年四囊の[illegible]屏風に女に男に[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年月[illegible]

[illegible]

人[illegible]

堀川流百首[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花園前内大臣

月前恋[illegible]

[illegible]

従二位[illegible]

[illegible]

[illegible]

惡右衛門尉

ちくもつの方へ出ようのあるものとして

日吉社へ参る

刑部卿頼輔

はるくるも清井の新しいはりまつ春なれしのるを惜しせい

ちりぬる人のなごりつゆけし

大江為言

あはれとも思ひのあまりよるの袖ぬれぬるかなりけり

新古今

藤原定家

ちるやとゝまるとしつゝ春ふかみ清水なれいの源なりけり

つぼ殿のゝ侍ちかくの人のもとへつかはしける

後鳥羽院

まいつは新めしたれよ惡うん坂の世まてもなくさめよせん

惡右衛門尉

進子内親王

かをるとて乃ちかくるつまれさの人ゝもかくる人のこゝろか

百首歌たてまつりし時

大納言公重

とのゐする部屋の梅よ乃ちかくるゝ人をゆるゝ春なりなん

惡右衛門尉

源定忠朝臣母

ちるはんかをふせめてうけつゝやそれもそれてのはそふ人の

文保二年後宇多院よりたり百首歌中よ

後醍醐院少將内侍

[illegible]

つまとりもちの女の美よりいとけあるさまなりて

それいとつゝけ　前右兵衛督惟方

つまとりさうつと美よりてうれさ美とうつゝもる

意命よ　粉太納言云宗

ちとせのいはほのさまなりて人なれとうぶ

順徳院御歌

おもひあまりもちれんと云てのまれ人はこの中れ出

清輝云女のりこれのり　前文前右大臣

[illegible]

女のりこめてつゝもる　みあ王博　訳

四しのゝうめいまてこれ辛うあ不望

如よつゝこもる　東宮入道摂政前右大臣

ゝよのゝこけいひ年　郭公ほかゝうんとこゝ

前右近大将道綱母

四てこん人のさゝふかくこゝすいゝうんさ知ゝ

別意乃ゝと　源為氏朝臣

くれなゝさゝはの海今ゝ

[illegible]

[illegible]

梅の[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原隆信朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原隆信朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

進子内親王

今物語

永福門院

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

風雅和歌集巻第十一

戀歌二

恋絶恋乃心を　永福門院

[illegible]

恋の心を　冷泉

[illegible]

[illegible]　信之伝親子

[illegible]

藤原重経

[illegible]

絶恋を　新撰和

[illegible]

恋歌ふ　伏見院新撰和

[illegible]

[illegible]　前大納言尊氏

[illegible]

恋歌　永福門院

[illegible]

約束

園右前大臣女

とのつぼねにまいらせられ給はるべきよし

百首奉行

前大納言為兼

おもはぬかたなりとて

かの歌の定めもまことに

為相卿の心を

前権僧正関白

宵のまにまにまいらせられてそまつ

光厳院前右大臣女

つぼねにまいりあつまりて

為兼卿

永福門院

たのめ給てとゝのはせられやとゝもまつらんといとゝ

歌の日数とゝまりぬと

後伏見院御前

いくゆきかへりまつらんとおもひ

為兼卿

遅参の間親王

尋ねまほしけれとゝ約束のむね

後醍醍院

為兼卿

百首歌

為兼卿

秋の夕月

てゝ

なをもとゝ

[illegible]

[illegible]

寛治百首哥中よ哥月恋

藤原俊頼朝臣

[illegible]

源俊賢

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

進子四郎殿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同流四郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行きよ一枝角そらとゝ山ゝ事と

前大納言為忠

散られゝ山ゝ梢ゝの月のつゝきゝ見れ新もみやこ

二枝角そらゝ

法二位為子

ひゝくてゝ又あけゝよ一枝ゝもゝさゝりゝ

西園寺前右大臣

行ゝ山ゝを

さゝゝゝとゝゝゝ紅ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

従二位為子

[illegible]人[illegible]ある[illegible]

[illegible]事を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法橋定院御[illegible]

別意のこと

[illegible]

[illegible]

前大納言宮内卿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原元仁

とはるとしのまつかぜもこゑ

[illegible]

風雅和歌集巻第十二

恋歌三

[illegible]

後二条院御方

いふかひなしとはるのあるまゝに我ゆゑ人のためさへ

[illegible]

後宇多院遠島前実右大臣

うらとはぬまつのもとにまつ[illegible]

[illegible]

歳あけぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

百首の事

嚴島の渡一条

人よりはいとはるるとあるをばいとはるるいとん

入道二条親王

きみをこのうらはらのこのれをよそにうらめしんとと

宣旨門院新古今撰

あさくらもこひくらしをあれもをゆるらめら

新しらす

永福門院

ちはやふるかみよもきけとあのこはのうをいんの

ちはやふるつくさをなるかみのあれるわをいるき

渡文首の合

渡文首の合

進子内親王

恋の中ふ

恋の中ふ

権大納言家女

人をうらみ合うらうらうらうみのうらうらのうらの

恋歌撰ばの人の家の家の家の家の家の家の合

伊勢の恋歌

大納言有家

それの世をかの人をそうれれなるときのなるのうの

女首の中ふ

前大納言為家

なりしを新のはつうらうをうをを命のなくあれら

百首の事 時歌 権大納言為家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

儀式用新定

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山中入道前右兵衛督

[illegible]

権大納言宗世

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

面前家[illegible]中よ　右上[illegible]

世[illegible]

[illegible]

永福寺流

たゝ[illegible]人のうゝ[illegible]

流芳堂

[illegible]

仏見流御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

永福寺流芳堂

その切紙をけ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原云長母

うきなかよりひとりとものかたりよりはるかにこのつるみてそ

恵信尼御乃中よ　伏見殿御前

源ゝ母ゝ様ゝ様ゝ様

[illegible]

後[illegible]時[illegible]月を

[illegible]大納言公藤

[illegible]の[illegible]をいはの[illegible]

百首[illegible]時

正二位[illegible]

[illegible]

後京極摂政太[illegible]

合[illegible]寄風恋

前中納言定家

[illegible]

[illegible]大納言公藤

[illegible]海[illegible]

伏見院御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]大納言公宗女

[illegible]

儀子内親王

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

風雅和歌集巻第十三

戀哥四

日ごろ面のあかに人のもとへつかはしける

柳中納言定頼

清見がせきなるものこそ思ひなれ人ゝ為にはなほ

面ゝ日ごろ物ゝて物てつかはしける

左大将頼光

我袖は人ゝ為にや面のみぬれて我ゝ為にはき

ぬ

馬内侍

いとしくぬるのこゝろ所ゝ為にとけわびぬらん

貫之

物ゝ事

物ゝ我しつてよ事ゝ物ゝ思ひそめ物ゝ

人のうへを形ばかりとはでよ

和泉式部

多勢にたくさんなるものをあまたあまたに

物ゝ事

清人ゝ

いかゝ人ゝ物ゝ思ひそめ物ゝ

大原のあまの里にて我ゝ物ゝ思ひ

見ぬものゝ事ゝ思ひ

小町

国立公文書館
National Archives of Japan

今ハてつとさまりて乃ろ人のそとはいとまもなく
ものさと人のつとまるまとまりしむとまりうの事なる
法二位殿
日頃恋といふことを
ゆとまりの時のよきものの沢りしまあぬ者あわりて
権大納言公藤
ものとも
こゝろのいとまもわかぬまとひむとまりてまろはれ
伏見院御方
つとまとまりて物とおとりくるあれとまりしまとひとまり
院御方
二条院殿上宮とも
きとふくのもとにはとまりとまりとまりけさ
二条院殿上宮とも
是はさ人のふのいとまれたまりとまりとまりとまりゆく所業
院恋文首方合よ恋源を
儀子内親王
とまりてこの源内ものゆりとまりんあれとあわれとまりなりとまり
百首方なり一時恋の
権大納言公藤
ふるとまれハとまりのとまりとまりのとまりのとまりのとまりの源とまりの
恋方とてとまりの世紀とまり
院御方

[illegible]

[illegible]

[illegible]

永福門院

四十番歌合に歌

[illegible]

院御歌

[illegible]

永福門院

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

永福門院内侍

[illegible]

前大納言為冬卿女

[illegible]

五十番歌合に寄人恋を

永福門院百番

一もとのはなにはるかぜのかをりあり[illegible]人のこころに

又百番歌合に恋[illegible]今とはいふまでを

儀子内親王

[illegible]

後伏見院中納言典侍

恋歌

[illegible]

宣光門院新右衛門督

人なびく秋のとき[illegible]ぬれぬの[illegible]

藤原実世卿

[illegible]

有房後名

[illegible]

[illegible]

権大納言公宗母

[illegible]

[illegible]

[illegible]

儀式門親王

[illegible]

[illegible]

[illegible]

延政門院御方御

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後伏見院御所

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和泉式部

月の秋久我内大臣

小倉院

久我内大臣

覚院御前

覚院新宰相

権大納言公蔭

前中納言為相

藤原清輔朝臣

大僧正行尊

為合の中宗　中院前右大臣

うさ物しらしそよ我身ふる雨新うあり明の月

　　従五位義方合

我こころあらまし山の端よりなるみのうら波の月

　　前中納言

　　源人しる

ちらすとてうらふれ我をれば桜風吹く月のうさぬ

いもとうらの松ぬまの晴の残雪ふる雪

　　伏見院御所

山里ふる雨をとれいさりをしらうつ物ふる

　　永福門院内侍

表まさ雪ふる雨ふりて時ちうん物ふる秋の夜八面新

ふれんとうふいをのうふ物をたゝ地ふる雨濃ふるうん

　　順徳院御所

うしそよ雨はうとうん物ふる雨ふるとうふ

　　前中納言定家

人ようふ物をとうふ物をとうふ物ふる雨

　　従三位為家

恋情ふいふとと

　　権大納言宗朝卿

我ふうふ物ふるうふ物ふれやうふんとふれいふ物ふる

　　藤原親方卿

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建長三年四月十首奇講ぜられける

後嵯峨院御奇

うきなかの八重のしほかぜ吹しをれ白波ばかりかへる舟人

ふねをとめてあまのつりをみる人

漁父

はつ〻しの君よ海ちかく花ぬきとのの命乃ぬきかりかな

風雅和歌集卷第十四

戀五

百首奇

太上天皇

あるものの今をかぎりとおもはれてはてしなきかなしさの乃中よ

嚴安門院

海ゆかぬ人まあれの安にたつ

永福門院

ちかのうきはしをみるにあはしてはかりの世をうん

内大臣家

とのゐすがたあるやとゆかしきよるかな

高階師直

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法人[illegible]沢

[illegible]

法[illegible]野

人[illegible]

[illegible]

[illegible]

二條院御前

いそ[illegible]

[illegible]

[illegible]

前中納言實房

百首のうちに　　權大納言公宗母

人もとはぬ　　權大納言實兼

藤原為家朝臣

秋風のうち　　法印定為

秋見院御所

歌合門院小宰相

関白左大臣

源しうとのう物うら表されう紙家人の行末と思へハ

九条藤嗜真義

愛事ハ六とあう中ら四ら世の苦うちうそうひ

なき

無言抄中ら

法之位藏親

人心うれあまりふいたうあう世とうをうていたらぬう

西園寺前内大臣女

無ちうん力とう表とうれあうんいつうさ世うれて

或ハ極的親ら

思ふ人ハあていうひと無うん我世の後の始ハあうも

永福門院

ふとう物と紙のうあとうあうれうさて無ハうも

ハうくのうとうるうあうもうつうさて今ハうさう極て始き

因院宮藤つ嗜

ふく花と思ふ表とうう的人の基世命ていうを

家中無

朝平門院

行うれ者ハ行うれ六ハあうあうの者てうのき

解物懸無ていう事を

永福門院

月の基ハ世のうをうれあうあうれうあうハ時うう是ハ

無恋

法印尊邦有親ら

[illegible]

過去帳　前中納言定家

[illegible]世の月をみて明る命よのうらなりを

寛治百首　寛治中よ　寄風恋

法二位顕氏

[illegible]

藤原朝定

[illegible]ハ打来の陽乃[illegible]

伯俊澄朝

[illegible]

[illegible]

前参議家親

百首　寄月

[illegible]

太上天皇

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後人[illegible]

我[illegible]御[illegible]そ[illegible]時今てこひ[illegible]人をとうん

ぬし

藤原相如

[illegible]れわ[illegible]ら[illegible]御[illegible]

大体良[illegible]

中納言家持

[illegible]

[illegible]

後人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

京極前関白氣脈

[illegible]

[illegible]

須不知

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

永福門院

人のもとにて[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

新宰相

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今出川前右大臣家

[illegible]

[illegible]

藤原定信朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建長三年八月廿九日唐御所会[illegible]

前大納言為氏

[illegible]の人乃[illegible]ひるそ[illegible]

風雅和歌集巻第十四

雜歌上

年のうちの人々[illegible]

中納言為相

[illegible]

[illegible]人[illegible]事を

左京大夫顕朝

[illegible]

[illegible]

大江頼重

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宮のうちの梅はそれはまことに古代の梅
ある人のもとに京業平朝臣家の梅をうつ
してうゑたりけるを過て後にみくはへ
しかる　前大僧正能宴
世人のもとめぬ名をは梅の宿の梅の花
定家卿　やどりとは花の香をたに入くみて
うつしうゑけるかうの物にうつして後の梅の花
梅はひとりの春にあらず　東梅院内府
春風のなびくにつれて梅の花
なびくにつれて梅の花　前大納言為世

打ぬらす山ぢの雪の梅の花
春の雨　　藤原為兼朝臣
春風のなびくにつれて梅の花
平久時
野をさ梅の匂ひも春の風
伏見院御歌
梅花ふりかくしたる春の雪
春の山ぢ中よ　伏見院御歌
春のやまぢ中よ　　池
春のやまぢ中よ　　池

[illegible]

源師房

霞たつ[illegible]の[illegible]ハ[illegible]ゆかしきあるの山乃端の松

頼義社[illegible]ゆきの百首[illegible]の中ハ霞を

[illegible]

[illegible]

源俊頼

[illegible]の海霞[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

春曙を

九条兼実女

[illegible]

源頼春

[illegible]の霞も海[illegible]山の端ハ[illegible]の月

源二位為子

[illegible]

[illegible]

春曙とよめる

後京極摂政前太政大臣

[illegible]

前大僧正義俊

[illegible]

三十首之内中ハ　　御中納言定家

[illegible]

前大納言為兼

[illegible]

仏見て人々[illegible]

[illegible]

僧覚法師

[illegible]

仏見山おろしの花も乃末時てうもれまてのの[illegible]

文保三年後宮歌合百首内乃

[illegible]

[illegible]

百首内乃中ハ早蕨を

安和門院四条

[illegible]

[illegible]

前中納言定家

[illegible]

[illegible]

法二位家隆

[illegible]

[illegible]

[illegible]

春まはるまゝにつかさ屋のあれ小篠ゝれたるさまなり

西園寺殿御中納言定家

ひさしかるへきものゝ人さうなる

をゝ清水原左右衛門督紅梅をもりて給もの

次の日れ花の時分はて御ものを

もりもしまひつけ給もの

侯人高倉

うつ〻の色もをもしろき梅花をもはさせ給

玉へ

前参議修國

うつ〻うへ宿の梅もあるあるもりて花

をもり

大江参周つゝきよりまゐる紅梅

花を見て

赤染衛門

ゆ〻しきは時ものかなこの花の

陰月乃比梅花をつまてまりける

大納言行家

玉くしゝ花の時分にはれたるんまもさ物

御直衣

紫宸殿の奇

今年梅の花を折もちんあるあるあ梅の

枝山中前左大臣左右の梅を持て給もの次の

朔日つかもる

前大納言為兼

時とゝあ[illegible]ゝ[illegible]花のけしきをふかうらん

後宇[illegible]太[illegible]

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]みの時とあ[illegible]ゝ[illegible]花の[illegible]

法勝寺[illegible]花[illegible]

皇太后宮[illegible]後[illegible]

花[illegible]あ[illegible]ゝ[illegible]井[illegible]法[illegible]山[illegible]

[illegible]寺

僧正[illegible]朝

[illegible]花[illegible]

百首[illegible]時[illegible]

[illegible]法親王

[illegible]野山花の[illegible]

[illegible]

法[illegible]懷の心を

仁和[illegible]寺

花[illegible]

前中納言[illegible]

花[illegible]花[illegible]

山[illegible]

[illegible]

時[illegible]花[illegible]

[illegible]

[illegible]

花の[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原惟規

[illegible]

中將

建礼門院右京大夫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寛治四年宮中に見花といふことを

中太后宮大夫俊家

ゆるすとていづくにか山の春の花をたづねられ

侍従中納言長房

世のうさはなぐさめかねてまがひなく野の奥にぞ見る

けりの山に花ぞ咲のこりける春の

木の花をたづねてみるもあはれなれ

西行法師

ちりそめて後はいとゞ花の色の

春の限りはたづねとぞ思ふ

花盛中に

法印定成

たづねてもいとゞ民城

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

永福門院内侍

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時ならぬ宿の桜の花さかりふるとはみれどかつ
散れり　　院御所
春うとく深山ならねどうつき花の色をとはれて
花のいとはるさをかなく　　和泉式部
あらさまく生死命のはかなさをうつ山世のかすかに
散りぬる　　浄法師
風をけいさはらぬ水も若葉して澄はは川瀬に花のふ波
　　源貞行

深くたのみのくさつまを風ふきまはれ花もわりなり
　　源貞世
散花をせきとめよかしかぜ乃情とおもへん
　　平親清女
ちるまてを人をとはぬ春のやまいかなるみやはの花の白雪
　　源和義
雪ふるもしらてをしまし春風の花をおもふ
春雨
ひとしさは若草ちりはまちりわかる宿は若草
　　源高国

[illegible]

百首歌中より恋 法二位家隆

[illegible]

[illegible]

出羽国[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原為信朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山階入道[illegible]家十首歌より松花を

山階入道前太政大臣

[illegible]

[illegible]

前大僧正実証

[illegible]

春歌乃中より

前太政大臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

永陽門院内侍

雑の中に

前大僧正慈鎮

百首の歌たてまつりし時

源宰相中将

四位のまゝ内裏にまゐりて家の歌合しける

京極中納言定家

みわ山のもとに秋の月をながめん

藤原重成

ながらへてこの世のほかの思ひでに

いまはの身にしあふさかの関もこえぬ

二条為氏

ながめつる山の端をだにとまるべき

月のかたぶくかげぞ残れる

二条為連

そをだにとゝめもつゝまるゝ月の郭公

藤原朝光

時鳥鳴くべき方をたづねかねて

前大僧正忠源

鳴くこゑもあはれ聞ゆる郭公

藤原行宗朝臣

さゝなきの声のあはれ聞ゆるは

藤原景綱

わがやどの花々の散るまがきに

寄月恋

尋孫入道山くれのなくさびうき世のみちかなうん

右大将頼朝卿

ひとものまし　ひくらをあうのく秋のまれ侍

くれハ初夏　卒もられ　迷てよゆりうまあ侍女

車うりかくくさて　たれの法ようせてはもう

清人ようす

梓弓あら　数ハ月新のいりをのこたくこりあり

世をうむ　さて　はおやりをとりゆうあり

法二位宗盛

法二位家女

もてもあるあるこさ　勇ようのよりもてゆ　ゆのなる

頼ようん

備乃ようすくこ　ようて　新ようはうのあ

小黄を　狩城成宗

多けて　ようのこけさ　ようみ　ようの当の秋の美人

安信宗長朝臣

松浦の　入て　ようの岸のうへ　田ようの当ようから

八月　頼成　菊原教盛卿

時ふれ　ふ乃　ようもの　ようの　八月　の

清水寺開元

みちはくもりけるこゝろをぬけ出ようにて雲のうち

はさてもよいくゝかりぬあま衣田蓑の島の月ぬれ

高階重茂

蓑笠かゝ

源顕氏

今とりも夕立もとゝ岩戸の山の端くもる雲の一村

野夕立

惟宗光吉朝臣

山の端に時雨のそらはあれてもくもる夕立の雲

夏草

伏見院御歌

夏草はしをれもとゝ世をみてさいの末に通ゝとゝす

山家映雨

前参議雅有

雨ふくく外面の三葉風そなとはもとゝ山乃下行

僧人家

村雨を時雨の松の山ゝ行ゝ寂吹ゝ風のもとゝさ

源貞頼

山乃日影をよもぬまくれの水れおもうそ有ゝ

儀子内親王

ゝ

文よりまさうゝ孫よ月の新も蓋よをく感

述懐百首歌の中ゝ

まつおい原まつのおもいかけさ敷さるへ思ふめ
小野社よりまつる百首なり
前大納言為家
今月やこゝらもいとふ山ちかくあつまわるも家幸
頌しらす
社をさまれとけうる風ふくゆ日すゝきはのしたけ
長月尚侍の法ゆうこさうつゝ緑のあう濃き
前原長治

中大路文度俊成

一せ乃やとる山風よ松すゝ夕ふ山ゆ
惟宗光吉卿臣
ハあ社忘の星も身をてゝ世あ月出ゆ人の数す待も
貞室上人
忘君清ふ泉乃水も寒ふ山をあ夜深の深さ
河原流れ法橋顕昭所合一結ゆ夕ふ数ハの
そゝ事ふ事と
前原隆信卿臣
ふゝ戸一鶯ハ野ゝ苔ゝ深青ふ海乃春立花
七月七日乃夜山流ゆ七夕ふめ社ゆ時ふみ
伯宗
後西園寺入道前太政大臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

燈述懐と云ことを　藤中納言為相

吉野山野よりかすみ　藤原為家

桜咲のまさらぬ世なれはなり

順徳院御歌

鹿の子を入れの稗よ咲ぬ　藤原定家

田家の人を　俊頼朝臣

秋風の田乃末に吹ぬ　藤原為家

稲葉のかゝ入日をそ乃る

澄月

松の音とはに乃ち　藤原為家

松乃中よ　後嵯峨院御歌

入日さす海ちかき松原の入江霧晴て山の端ちかく

権少僧都浄乃

百首歌時　藤原為家

嵐ふく沖の白波　藤原為家

頭しらす　藤原頼清朝臣

晴ゆく山の峯に霧ひ乃て山の端ちかく乃の一乃

藤原宗行

かゝ乃ゝ松の梢乃ゝ　中院社友

松風を

岩もくだけ林のこずえやられて麓をめぐる谷川の村雨

題しらず　平英時

ちりのこさぬ新緑の春のなごりも柏の紅葉の秋風

ながめまさる日数のうすぎぬ　明通法師

須磨の浦や波路の果ぬ雪晴てなほ波路遥山

前大納言公氏

松風は月乃見ぬ夜もなれて音のみぞ秋の夕

須磨の浦に七夕七百首詠ませる時

柳中納言公雄

今もなほ須磨の松乃みどりにて月乃弱

仁明　吉野の宮にて湖月を

ちぢのやまぶきの浦の桜ふうきやどりて月うつるけき

月乃宮殿中に　前大納言尊氏

湖山松原に月ハ明さ物さびしきの情ハ秋ぞ多

津守国冬

ながそるあまそそやれの月ぞ　新のちもきらん

賀茂泰久

[illegible]

藤原為守女

[illegible]

[illegible]

菅原懐通朝臣

[illegible]

和氣経成朝臣

[illegible]

丹波長典朝臣

[illegible]

清原宣賢

[illegible]

貞永元年八月十五日中宮御歌合

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後鳥羽院御歌

[illegible]

[illegible]

二条法親王家風

[illegible]

百首歌中に

入道二条親王家

ひてしらるるかの奥山の雲はらはぬ月新

雅家卿中ふ

儀子内親王

ちぢにうつる月の新たなるかの月は新たなるかの月

丹波忠守朝臣

秋もしきかのそれ一時あるかの月の情なりけり

山家月と

恵助法親王

いとひこしかの世の外の山里は月はかりをすみかとぞ

藤原為守

世代のうきてはあつまる法師あり

住ひくもりなきかの月は雲さはるまの秋

法印慶潤

ひとりすむ月はうきんとてうきめかれぬ秋のこころ

西年又は四重の法師月秋は女の歌は男

いとてものこよひはいとせはしかる不

男之

山の端よりへんとて月のかの我をとはるるあんとやる

女之

久方の月のたちよりかの人をいとはるるかとはるとは

京極法師

はるくとしらるるさかりあれてと秋の月をさかりに
ゆきかくれぬる山月をとはく　左宰相新重家

月新のうつりかはりをもまち人のこゝろのうれいをはるめ
月前述懷を　後惠法師

をしむとはいかのうさ事ぬ秋ゆくとうとへとうつる月をとうし
月はなほ月にて　法印圓淵はる奇

歌くとて袖の露とはいかれ秋の秋乃月　法二位家隆

月はいかりしもわれ袖のうつられて月の涙ふるしん

月十六首　前大僧正慈鎮

春をそ袖のなかるひのなかりて雲の月は新はるはん
雲月雜とはるとをとるとせ行はる　院御所奇

やはらぎみちの間はるとも月の雲世の中は新はるし花
雜　左宰相定家卿

はるはるくとひとをとし世はるとまるはまる山の端月
賀　藏雅久

ををはるさのはるいく里はるはるはるはるの衣をとる

雜賀の杜中より　前大僧正慈勝

為よもぎ屋のくさ枕乃草はうゑ　杜乃秋

紅葉を　祝部成國

一しほ染て時雨ふるくれ時の山乃あけの葉

杜の月に　萬里上人

うつろふ花の末の夕附日うつるもうれし杜の蔭

蓮塔のくを　大江ゝ里

山もみ杜とうれしとはくらも杜の紅葉　朔寂

仕の果つるさもう面うらつてきぬるは十月つるよ

ゆる　和泉式部

とゝ八月はまうけまうけ時雨ふらぬもせうう

夕附日空つもりよりけりて時雨ふるは思ひの杜

為家卿

杜の月　祝部成國

ものうち杜の紅葉の時乃時雨ふるそ月ぬ時雨ふるあのうる

為家卿交歌とい事を

前大僧正賢俊

神無月時雨ふるまれ杜ふるはちりふ杜ふるそふん

冬ゝ三の代中小　二条法親王尊瑜

為家卿杜の紅葉を　又ちりい杜木ゆうの風

従二位為子

[illegible]

[illegible]

風前為業とりあつめ

後伏見院御所

山風よりもなほ勝れ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

贈従二位清子

[illegible]

[illegible]

雅家卿貞臣

[illegible]

文保三年法皇百首歌中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

順徳院御歌

ながらへの岩の苔むすしたの雪ふるくもあはれ秋の

前権僧正慈鎮

あかの秋の入海にてなみのうへの月をこがるるあまの釣舟

後宮内侍七夕前の浦をとる

ながめ入て袖にうつりて浦をとる秋の夕の月のかげ

紀行春

たつたんとすれば雲の浦波の月のかげ

藤原成藤

おりてもあはれまさるみなせ川さうやの月のあけぬるを

藤原基雅

山川の岩ぬる水の紅葉ばのちるとも流れ秋の雨

後鳥羽院

城川流前前の炭竈を

後鳥羽院

いふせんちいのうちさるはの火のうつりてくのこゆあるさと

前権僧正静伊

家雪を

おりてもあはれまさるみなせ川さうやの月のあけぬるを

[illegible]

前権僧正雲雅

[illegible]月日[illegible]花の数[illegible]年の春の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原為基朝臣

[illegible]

百首歌[illegible]時分

永福門院内侍

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan